

福岡県西方沖地震被害調査速報

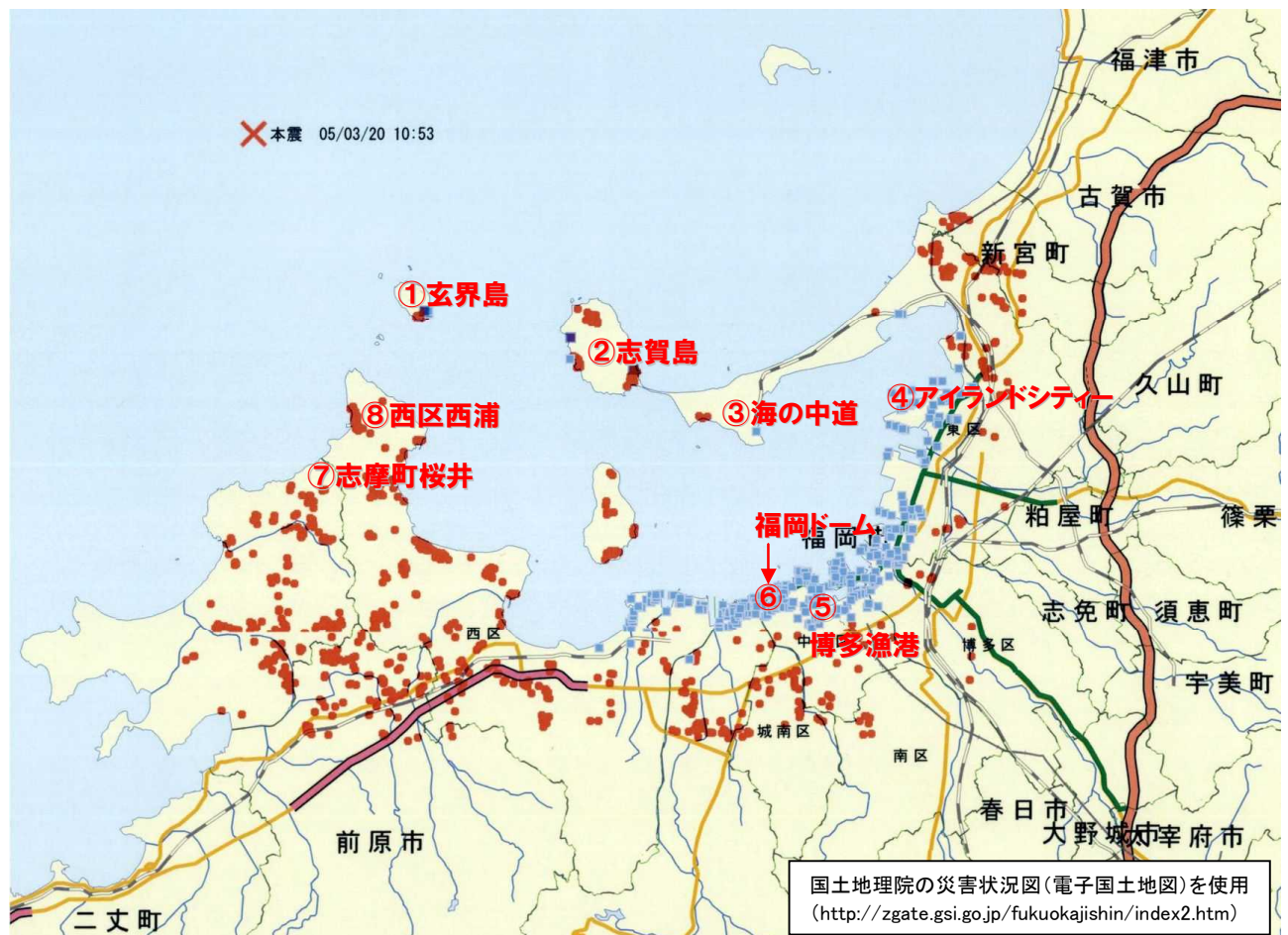
サンコーコンサルタント株式会社

平成 17 年 3 月 20 日午前 10 時 53 分頃に発生したマグニチュード (M) 7.0 の福岡県西方沖を震源とする地震によって、福岡・佐賀は強い地震動に襲われました。この地震により、福岡市中心部では震度 6 弱の揺れを記録しました。震源は福岡市東区志賀島の北西約 40km の玄界灘で、震源の深さは約 9km と報告されています。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社では地震発生当日から現地調査を、翌 21 日からは産学連携による合同調査を開始しました。合同調査の成果につきましては、「土と基礎 (地盤工学会)」および「地質 News (日本地質学会)」に報告する予定となっております。

合同調査を実施した研究機関および研究者を以下に示します。合同調査には各研究室所属の学生や卒業生の皆さんも参加されました。

- 山口大学工学部 (山本 哲朗 教授、兵動 正幸 教授、鈴木 素之 助手、吉本 憲正 助手)
- 山口大学理学部 (金折 裕司 教授)
- 九州大学大学院 (佐野 弘好 教授、下山 正一 助手)



写真掲載箇所一覧図



玄界島南側斜面の宅地崩壊状況（崩壊斜面には緩いマサ土が露出している）



玄界島南側斜面直下の家屋の損壊状況（被害は古い家屋に集中している）



玄界島南側斜面の家屋の損壊状況（宅地崩壊により、家屋が下の畑に落下している）



玄界島山頂付近に見られる開口亀裂（当該箇所は地すべり頂部付近に位置している）



志賀島東側斜面の崩壊状況（崩壊箇所の地質は、花崗閃緑岩および角閃石斑レイ岩）



崩壊箇所の近接写真



志賀島東側斜面の落石状況



側方流動に伴う亀裂の拡大状況



側方流動に伴う護岸の被害状況



液状化に伴う噴砂、電柱の傾倒



液状化に伴う噴砂



海側埋立地盤の沈下



沈下に伴う段差、液状化に伴う噴砂



上記噴砂箇所の近接写真



液状化に伴う噴砂



上記噴砂箇所の近接写真



上記噴砂箇所の近接写真



液状化に伴う噴砂



開口亀裂群



港湾施設の被害状況（エプロン部の沈下）



港湾施設の被害状況（護岸の海側へのはらみ出しに伴う開口亀裂）